

余暇の過ごし方と学び

報告書

(2008年2月4日～14日調査)

| | | |
|-----|-------|---|
| I | 調査の設計 | 1 |
| II | 結果の概要 | 4 |
| III | 調査票 | 8 |



社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

<http://www.nagano-yoron.or.jp>

I 調査の設計

◆調査の目的

職場で長時間労働や残業が日常化し、教育現場では再び学力向上のかけ声が強まり「ゆとり」が見直しの逆風にさらされている。他方、週休2日の定着、ライフスタイルの多様化で、余暇のあり方が人生の幸福度を計るひとつのモノサシになってきた。とくに、世界トップレベルの高齢化により、余暇の過ごし方は経済的安定ともども、長い人生設計のポイントであり、どのような受け皿が望ましいのか、重要な課題だ。

県民各層が現在、自分の収入と自由時間の兼ね合いをどう考えているか、自由になる時間をどのように過ごし、今後はどのような活動や技能を習得したいと考えているのか、そのための問題や不満はどのようなか「あすの余暇」の周辺を探る。

◆調査の設計

▽調査方法 当協会の登録モニター500人に事前に調査票を郵送し、回答は郵送、ファクス、電話聞き取り、インターネットを併用して回収。

▽調査時期 2008年2月4日調査票発送～14日回収締め切り

▽有効回収数（率） 485人（回収率97.0%＝男性239人 女性246人）

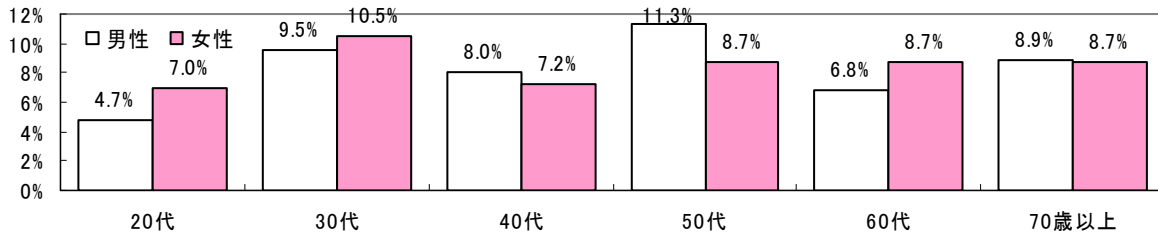
| | | |
|-------|---------|------------|
| ▽回収内訳 | 郵送 | 236（48.7%） |
| | ファクス | 126（26.0%） |
| | 電話聞き取り | 68（14.0%） |
| | インターネット | 55（11.3%） |

<注>報告書のパーセント数字は小数点第2位を四捨五入。合計が100にならない場合がある。

回収サンプルの内訳

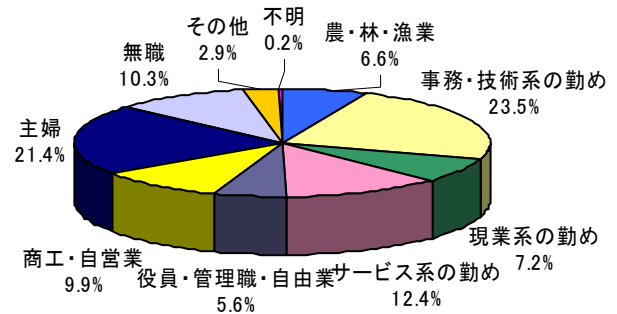
【性別と年代】

| | 合計 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70歳以上 |
|----|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 全体 | 485 | 57 | 97 | 74 | 97 | 75 | 85 |
| | 100.0% | 11.8% | 20.0% | 15.3% | 20.0% | 15.5% | 17.5% |
| 男性 | 239 | 23 | 46 | 39 | 55 | 33 | 43 |
| | 49.3% | 4.7% | 9.5% | 8.0% | 11.3% | 6.8% | 8.9% |
| 女性 | 246 | 34 | 51 | 35 | 42 | 42 | 42 |
| | 50.7% | 7.0% | 10.5% | 7.2% | 8.7% | 8.7% | 8.7% |



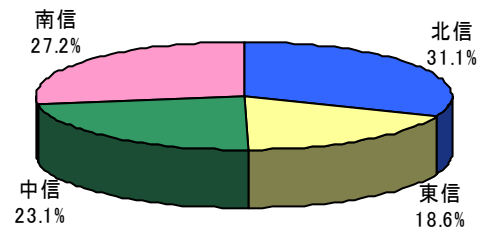
【職業】

| | | |
|------------|-----|-------|
| 農・林・漁業 | 32 | 6.6% |
| 事務・技術系の勤め | 114 | 23.5% |
| 現業系の勤め | 35 | 7.2% |
| サービス系の勤め | 60 | 12.4% |
| 役員・管理職・自由業 | 27 | 5.6% |
| 商工・自営業 | 48 | 9.9% |
| 主婦 | 104 | 21.4% |
| 無職 | 50 | 10.3% |
| その他 | 14 | 2.9% |
| 不明 | 1 | 0.2% |



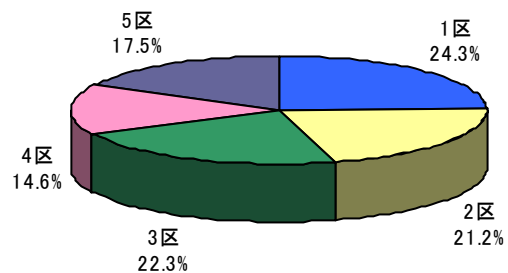
【地域】

| | | |
|----|-----|-------|
| 北信 | 151 | 31.1% |
| 東信 | 90 | 18.6% |
| 中信 | 112 | 23.1% |
| 南信 | 132 | 27.2% |



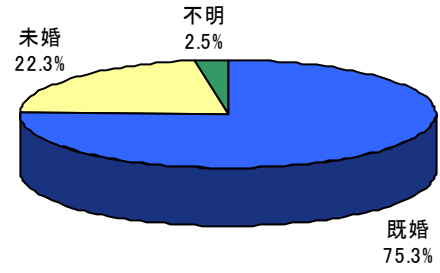
【選挙区】

| | | |
|----|-----|-------|
| 1区 | 118 | 24.3% |
| 2区 | 103 | 21.2% |
| 3区 | 108 | 22.3% |
| 4区 | 71 | 14.6% |
| 5区 | 85 | 17.5% |



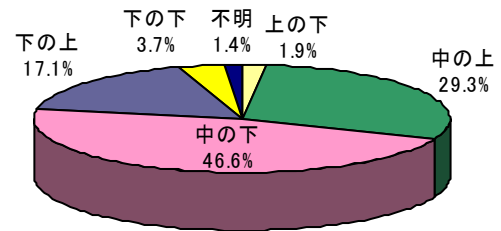
【結婚の有無】

| | | |
|----|-----|-------|
| 既婚 | 365 | 75.3% |
| 未婚 | 108 | 22.3% |
| 不明 | 12 | 2.5% |



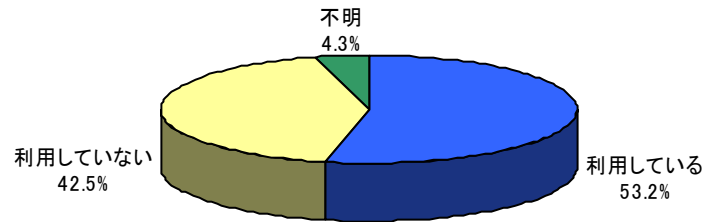
【暮らしぶり】

| | | |
|-----|-----|-------|
| 上の上 | 0 | - |
| 上の下 | 9 | 1.9% |
| 中の上 | 142 | 29.3% |
| 中の下 | 226 | 46.6% |
| 下の上 | 83 | 17.1% |
| 下の下 | 18 | 3.7% |
| 不明 | 7 | 1.4% |



【インターネット】

| | | |
|---------|-----|-------|
| 利用している | 258 | 53.2% |
| 利用していない | 206 | 42.5% |
| 不明 | 21 | 4.3% |



II 結果の概要

より良き余暇と学び

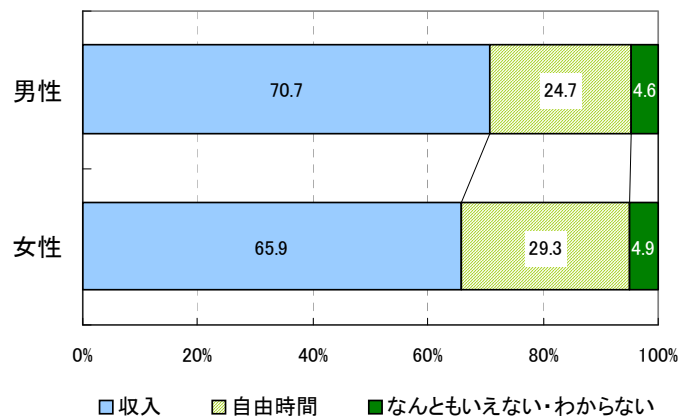
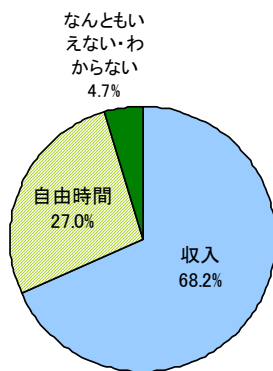
もっと増やしたいのは 「収入」68% 「自由時間」27%

自分の所得・資産の現況に「満足」が総体で37%、心身の状態については「満足」が68%という受けとめで、今後は「収入の方をもっと増やしたい」が68%、「自由時間をもっと増やしたい」は27%。

「収入」で男性が70%台に達し、女性よりも5ポイント高く、30～40代でも高めになっている。職業層では、無職層の80%を最高に農林業、管理職層などで高い。

「自由時間」では60、20代で30%台になり、事務・技術職、主婦層でも高めになっている。

「収入」で暮らしぶり“中の上”55%－“中の下”72%の落差が著しく、「自由時間」では逆転する。



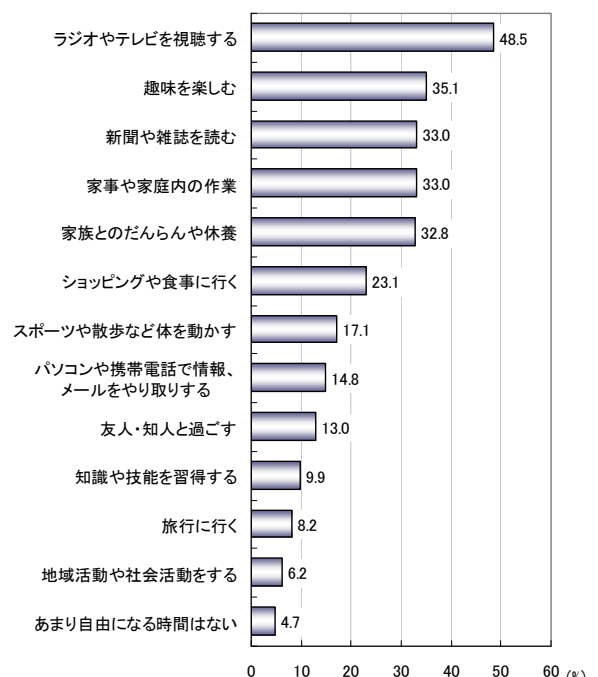
自由時間の過ごし方

「テレビ・ラジオ」トップに「趣味」「新聞・雑誌」「家の作業」

トップは「ラジオやテレビをみる」で、差が開いて「趣味を楽しむ」が2番目。僅差で「新聞や雑誌を読む」「家事や家庭内の作業」「家族とのだんらんや休養」が上位5番に並ぶ。「地域活動や社会活動をする」や「旅行に行く」は下位に置かれ、総じて家庭内での過ごし方が主流になっている。

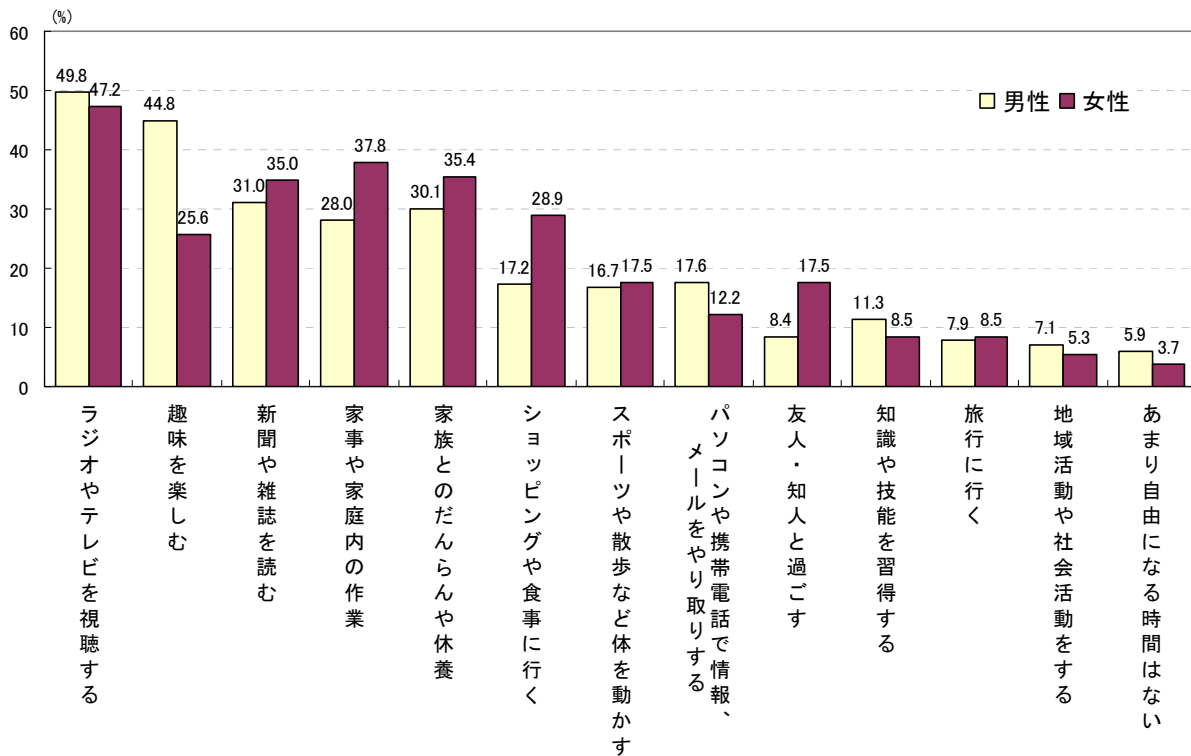
「ラジオ・テレビ」は男女を通じて高いが「趣味」「パソコン・携帯電話」で男性が高くになっているほかは、女性の方が全般的に高めている。

高い年代層が家庭内の過ごし方が大勢になっているのに対して、若い年代層は「趣味」



(「その他」「なんともいえない・わからない」は除く)

「ショッピング・食事」「パソコン・携帯電話」の度合いが高まる。こうしたコントラストは既婚層と未婚層に相応する。また、30～40代が「だんらん」で抜きん出ており、20～30代が「知識や技能の習得」でやや意欲的な傾向もみられる。



(「その他」「なんともいえない・わからない」は除く)

余暇を楽しむための活動や技能の習得

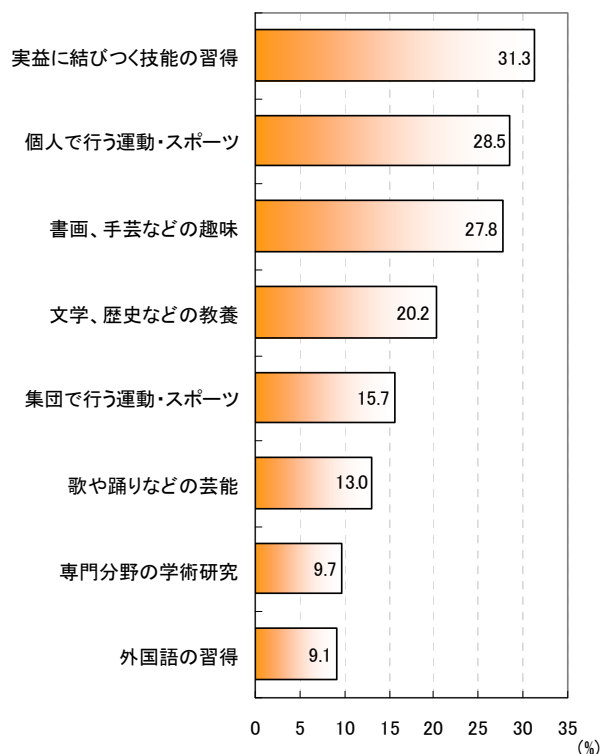
男女差なく「実益に結びつく技能」 続く「スポーツ」「趣味」

「実益に結びつく技能の習得」が最も多く「個人で行う運動・スポーツ」と「書画、手芸などの趣味」が続く。「外国語の習得」は振るわない。

男女を通じて“実益派”が高めだが、「趣味」や「歌や踊りなどの芸能」で女性が男性に大差をつけ、低率ながら「外国語」でもリードする。男性は個人スポーツと学術研究でやや上回る。

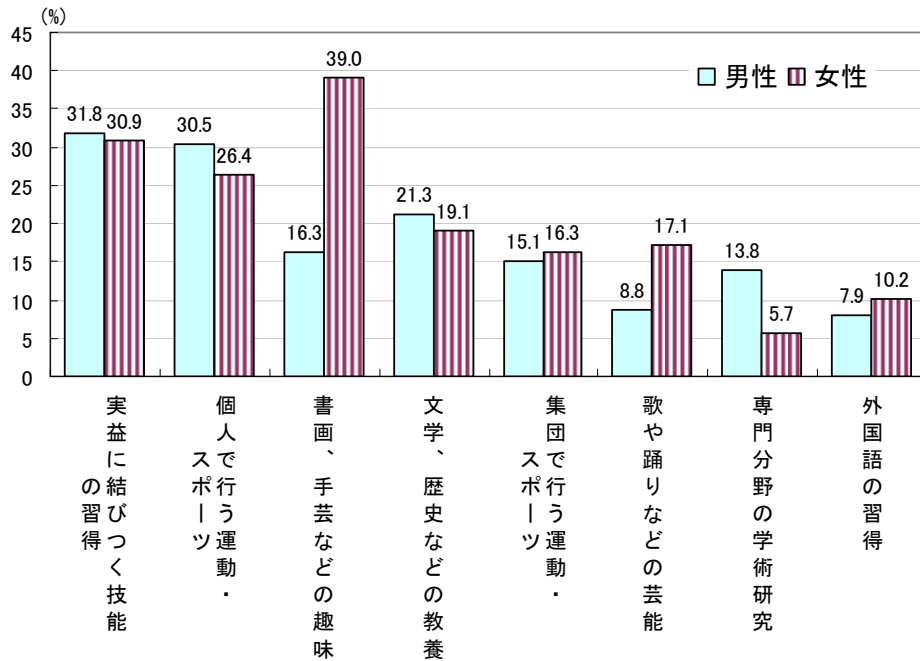
年代層で見ると「実益の技能」で若い年代層ほど高まり「趣味」では高い年代層ほど高まっていく。「運動・スポーツ」は、60代で“個人派”がめだつものに対して、若い年代層で“集団派”が高まる。

今後、自分の自由時間を増やしたいと思う層は「趣味」と「文学、歴史などの



(「その他」「特になし」「なんともいえない・わからない」は除く)

教養」でやや上回る程度。全般的に、収入を増やしたい層との大きな違いはみられない。



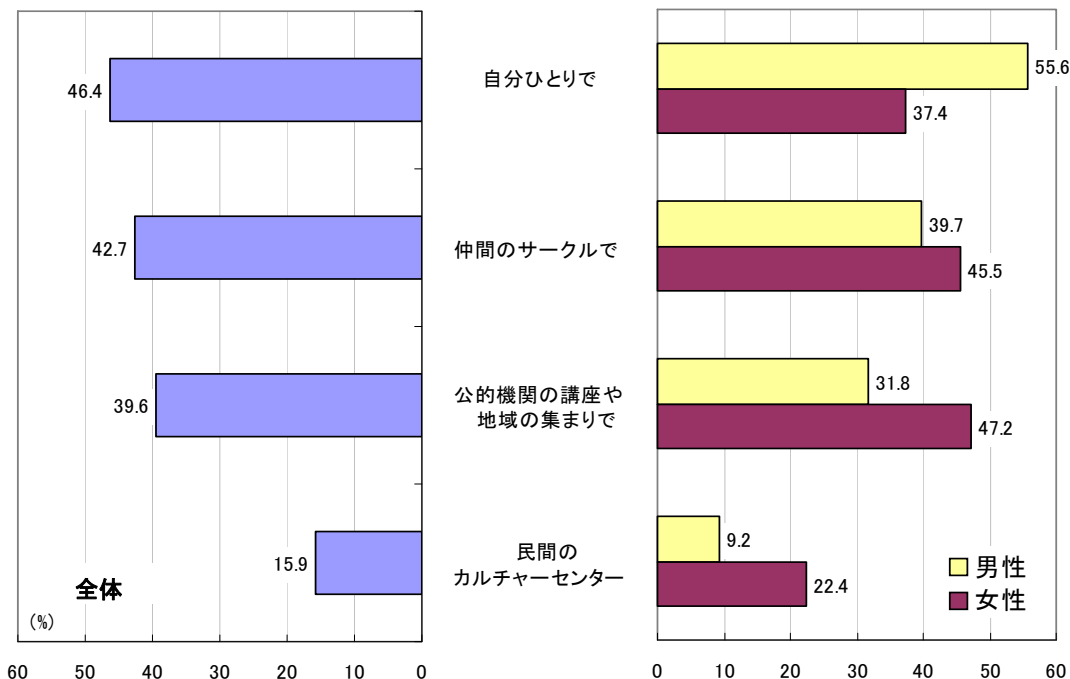
(「その他」「特にない」「なんともいえない・わからない」は除く)

活動や技能習得をどこで？ 「ひとりで」「サークル」「公的な場」が上位 3

「自分ひとりで」と「仲間のサークルで」が小差で上位にランクされ「公的な講座や地域の集まりで」「民間のカルチャーセンター」の順で続く。

「ひとりで」で男性が56%の高率を示し、女性よりも約20ポイント高い。半面、女性は「公的な場」が最も高く「サークル」「カルチャーセンター」の集団志向がいずれも前面に押し出されている。

職業層では「ひとりで」で商工自営をトップに農林業や事務・技術系勤め人で高く「サークル」では現業系勤め人と主婦層、「公的な場」は主婦層と管理職層で高め。「カルチャーセンター」はサービス系、事務・技術系勤め人で比較的高めになっている。



(「その他」「特にない」「なんともいえない・わからない」は除く)

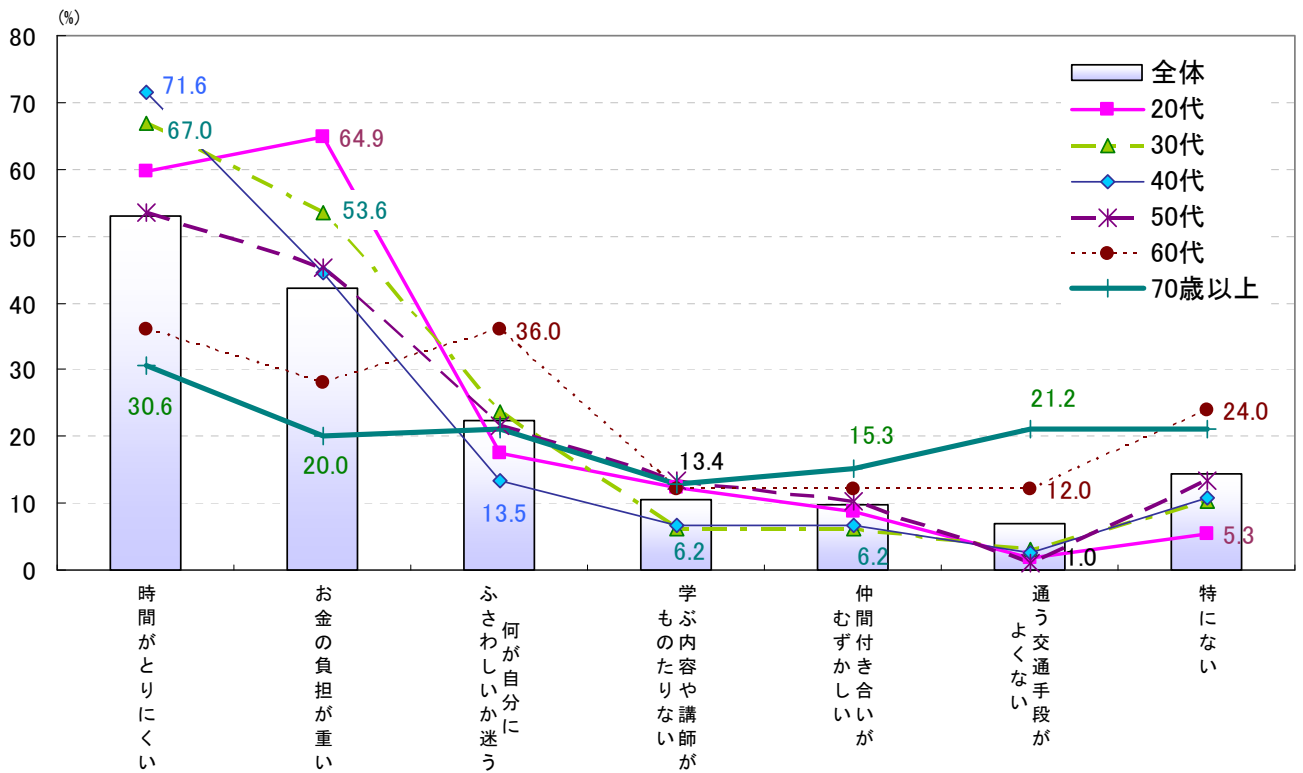
活動や技能習得のうえでの問題・不満

「時間とりにくい」30～40代で抜きん出る

「時間がとりにくい」が最も多く「お金の負担が重い」が2番目。「何が自分にふさわしいか迷う」が続く。「通う交通手段がよくない」は最下位になっている。

「時間」と「お金」など大半の項目で、男女に違いはみられないが「迷い」では女性で高まる。年代層では30～40代が「時間」に問題を抱える度合いが高く「お金」には若い年代層ほど高まり、20代では「時間」を上回りトップに挙げられている。職業層では、サラリーマン層や商工自営が「時間」をネックに挙げているのが際立つ。

今後、収入面を増やしたい層で「お金」と「時間」が肩を並べるのに対して、自由時間を増やしたい層では「時間」が70%台に突出する。



(「その他」「なんともいえない・わからない」は除く)

問6 あなたは現在、余暇を楽しむ活動や、知識や技能を身につけたりするうえで、なにか「問題や不満」がありますか。次の中から2つ以内で挙げてください。

- | | |
|------------------|-----------------|
| ① お金の負担が重い | ⑤ 時間がとりにくい |
| ② 学ぶ内容や講師がものたりない | ⑥ 何が自分にふさわしいか迷う |
| ③ 仲間付き合いがむずかしい | ⑦ その他 () |
| ④ 通う交通手段がよくない | ⑧ 特にない |

| |
|--|
| |
| |

<性別> ① 男性 ② 女性

<年代> ② 20代 ③ 30代 ④ 40代 ⑤ 50代 ⑥ 60代 ⑦ 70歳以上
(※年代に合わせて、選択肢番号を付けております)

<職業> ① 農・林・漁業 ⑥ 商工・自営業
② 事務・技術系の勤め ⑦ 主婦
③ 現業系の勤め ⑧ 無職
④ サービス系の勤め ⑨ その他(具体的に)
⑤ 役員・管理職・自由業

<地域> ① 北信 ② 東信 ③ 中信 ④ 南信

<選挙区> ① 1区 ② 2区 ③ 3区 ④ 4区 ⑤ 5区

<結婚> ① 既婚 ② 未婚

<暮らしぶり>

① 上の上 ② 上の下 ③ 中の上 ④ 中の下 ⑤ 下の上 ⑥ 下の下

<パソコン・携帯電話でのインターネット> ① 利用している ② 利用していない

| |
|--|
| |
| |

| |
|--|
| |
|--|

| |
|--|
| |
|--|

| |
|--|
| |
|--|

| |
|--|
| |
|--|

| |
|--|
| |
|--|

| |
|--|
| |
|--|